

## 演題・演者紹介

### 特別講演

☆「だれひとりとり残されない社会：触れ合いのなかで成長する子どもたちを大切に  
するポスト・コロナをめざして」

公益社団法人 日本 WHO 協会 理事長 中村安秀先生  
大阪大学人間科学研究科名誉教授・小児科医でもある先生のご専門は小児神経学や  
グローバルヘルスの分野です。その研究テーマや指導内容は、いつも、弱者、子  
ども・障害のある人・外国にルーツ・・・からの視点です。今の状況を、子どもの  
世界全体に対する危機と心を痛めておられます。ポスト・コロナをめざしてのさま  
ざまな取り組みについてお話をお伺いします。

### 特別報告

☆「ダウン症児の日常生活動作－発達評価表の作成－」

ダウン症児の日常生活動作の発達評価表作成ワーキンググループ

加藤由里、前岡伸吾、柳下雄大、吉住安希子、芳本有里子、南部光彦

ダウン症児は運動や言葉の発達の他に、日常生活動作に関しても課題を抱えている  
ことがあります。支援のために客観的な評価基準の作成にとりくむ会員有志による  
ワーキンググループからの報告です。

☆「熊本県こども総合療育センターにおけるダウン症診療と療育」

くまもと江津湖療育医療センター 山田みどり

平成6年から熊本県こども総合療育センターを受診された280例のまとめ、赤ちゃ  
ん体操を中心に療育や保護者勉強会等の取り組みについての報告です。

☆「会員アンケート調査結果より

新型コロナウイルス感染症のダウン症児の赤ちゃん体操教室への影響」

兵庫県立こども発達支援センター 野中路子

新型コロナウイルス感染症による赤ちゃん体操指導員の活動や教室開催への影響について、  
ご協力いただいたアンケート結果の報告です。

## ご挨拶

ライブ配信を利用しての開催は初めてですが、今までは参加が難しかった方にもご  
参加いただけるのではないかと思います。このような時だからこそ、新しいつながり  
を大切にしたいと思います。多くの方々のご参加をお待ちしています。

第31回日本ダウン症療育研究会 会長 野中路子

## 指導員養成コース受講証を受理された方へ～研究会出席認定のために～

今回の研究会を申込・視聴された後、A4用紙1～2枚程度のレポート（特別講演・  
特別報告の各演題に対し、感想等を半ページとして）をご提出ください。幹事会にて  
レポートの内容を評価し承認が得られた場合に、第31回研究会の出席といたします。

レポート締め切り：2021年6月28日消印有効